いこいの村 新聞

題字　梅の木寮　従来型

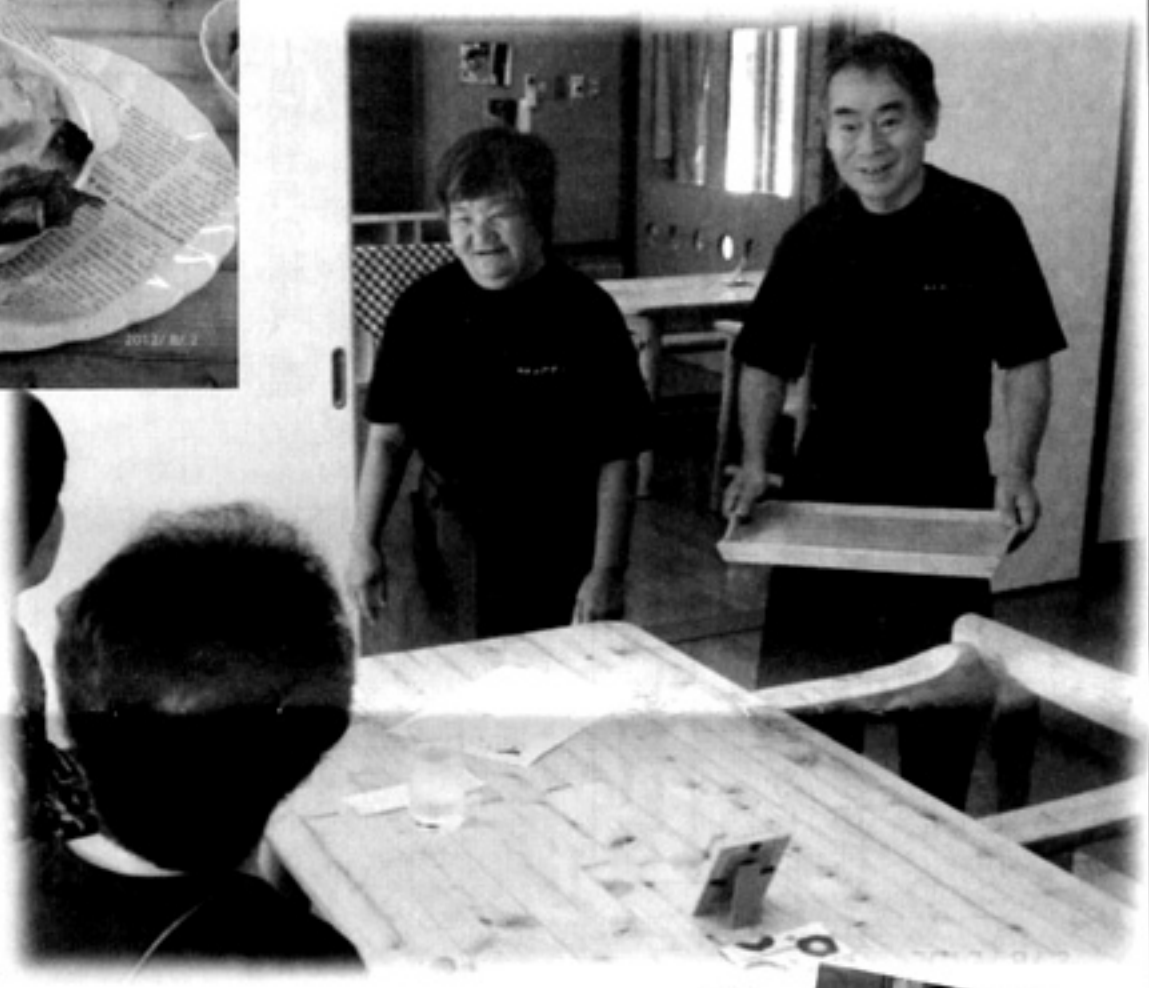
２０１２年（平成２４年）８月２０日発行

第３６３号

発行責任者　いこいの村聴覚言語障害センター
所長　柴田　浩志

編集　いこいの村編集委員会
〒６２９－１２４２
綾部市十倉名畑町久瀬谷２番地
TEL（０７７３）４６－０１０１
FAX（０７７３）４６－０６１０
http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi

いこいの村・たからの里に『カフェわびすけ』オープン！



田舎パンと季節の野菜のグラタン。栗の木寮農業班の仲間が丹精込めて育てたピーマンが使われています！

[ランチメニュー]
～石窯パンを使ったランチです～

A　田舎パンと季節の野菜のグラタン　９００円

B　ピザ（ベーコン、オニオン、トマト、ピーマン）　８００円

C　ホットドッグ　（ウインナーと野菜、カレーソース）　６００円

いずれもサラダ・コーヒー付

八月二日、いこいの村・たからの里に『カフェわびすけ』がオープンしました。六月一日のたからの里内覧会以降、地域の皆様から「気軽に石窯パンと飲み物を楽しめる喫茶がほしい」とのご意見をいただき、準備してきました。

水曜日をのぞく毎日営業しています（八月一九日～二二日は臨時休業）。午前十時～午後四時に喫茶、午後十二時～二時にはランチを提供します。石窯パンの販売も、行っています。栗の木寮の仲間（入所者）三名がお揃いのユニフォームを着てお客様をお迎えします。接客方法を学びながらのスタートですが、皆様に手話と笑顔でお届けできるようにがんばります！

（栗の木寮　木村公之）

いこいの村
たからの里

地域と共に20年！
いこいの村の歴史を振り返り、明日に向かって

いこいの村では今年創立三〇周年を迎えるにあたり、「いこいの村に勤務する職員が歴史を振り返り、新しいいこいの村を作りだす原動力にしよう」と昨年より研修会を企画しています。

六月には講師として、二〇年前の綾部東部在宅介護支援センター開所当時の職員、現在のデイサービスご利用者、いこいの村の入所者（利用者）、地域代表をお招きし、「綾部東部地域の高齢者福祉を考える」というテーマで研修会を行いました。

生の声を聞いて

開所当時の職員からは、「地域で相談活動をすればするほど矛盾が出てきた。つらかったが、地域の方に頼っていただけるようになった」

ご利用者からは、「いつかは、いこいの村で世話になりたいと思って頑張ってデイに来とるんやで。私が困った時は必ず助けてや」

「職員はいつも忙しそう。話したくても遠慮してしまう」といった本音を聞かせていただきました。

口上林民生児童委員協議会の高橋会長からも「東部地域にいこいの村があることで安心感がある。でも地域の人は評論家だと思ってほしい。いつも厳しい目を持って、見守っている」というご意見をいただきました。

地域の願いを受けて

いこいの村は、二〇年にわたり綾部東部地域での事業を拡大してきました。この事業はすべて、いこいの村が地域の方の願いを受けて、地域の皆さんとともに作り上げてきたものです。その原点は二〇年前に綾部東部地域を歩いて回り、地域の方のその声に耳を傾けたところにあります。私たちはこれからも、この原点を忘れずに歩みを進めていかねばなりません。

これからも「いこいの村の評論家」である地域の皆さんと、信頼関係を築いていけるように努めます。そして年をとっても安心して暮らし続けられる綾部東部地域となるように力を尽くしたいと職員一同、気持ちを新たにした研修会でした。

（いこいの村創立三〇周年記念研修会担当）

シリーズ第六回

いこいの村三〇年を振り返って…

元京都生協烏丸組合員センター運営委員で、栗の木寮の農作物やしめ縄の販売などでお世話になった細木京子様に三〇年を振り返り、お手紙をいただきました。

いこいの村創立三〇周年おめでとうございます。

私がいこいの村・栗の木寮を知ったのは、二五年ほど前に、京都生協の店でピーマンと出会った時でした。どこにも負けないおいしい物を作っておられることに驚きました。栗の木寮のことをもっと多くの方に知ってもらいたいと、しめ縄も置いてもらい、夏の子供祭りにはクワガタ虫や手作り品を持ち込んでいただき、交流が始まりました。少人数ながら、手話サークルも続いています。

初代所長の椙谷様は穏やかな優しい方で、福祉のことを何も知らない私はいろいろなことを学ばせていただきました。

所長様や指導員さん（当時はこのように呼んでいました）のあまりにも熱心なお働き、仲間の皆さんの明るくて前向きな一生懸命さに魅かれました。

はじめていこいの村を訪れた時
椙谷元所長と筆者左

当時栗の木寮の自治会では、何事も皆で話しあって職員サイドに要望を出して、ひとつずつ解決していかれましたが、その姿に原点を見る様でした。

就労後の自立した暮らしを練習するための家を施設内に作られたり、仲間同士で結婚され社会へ出ていかれた方もありました。課題を次々と克服していかれることから、いこいの村には不可能と言う言葉がないのだと思います。

いつまでもおいしいピーマンを作り続けてください ね。

いこいの村様のますますのご発展をお祈りしています。

1988年夏、栗の木寮のピーマン全滅を知り、
店内でカンパを呼びかけました。

いこいの村
総務部
部長　岩本　幸子

魚つかみに渡し舟、上林川の自然を満喫できる「第一七回川まつり」が今年も盛大に開催されました。

このまつりは地元口上林地区村おこし協議会の専門委員会で準備・運営されています。

いこいの村も例年委員の一員としてまつりの一役を担わせていただいています。

今年も事前の会場の草刈り二日と前日準備、当日の計四日間、各部署の職員が作業に参加しました。メンバーは普段から地域の方とお出会いする機会の多いデイサービスの職員もいれば、あまり施設外には出ない調理員、事務員、介護職員に看護師と様々です。

一緒に作業をしながら「おーい、〇〇君よ」と調理員の男性職員を地域の方が名前で呼んでくださっている場面を目にしました。名前を覚えてもらった職員が一人でも増えたことを大変うれしく思いました。

いこいの村では、創立以来「地域に根ざす施設運営」をめざしています。しかし、地域の方からは「職員数が増えるにつれ、職員の顔が見えにくくなってきた」とのご指摘もいただいています。そのような中で、地域の行事に職員が準備段階から関わらせていただくことは、チャンスをいただいていると捉えています。

いこいの村は今年創立三〇周年を迎えます。一〇月二〇日には「ありがとう三〇年。これからも共に」をテーマに記念集会を開催します。これからも地域の皆様と共に歩む、職員の顔が見える施設運営をめざしてまいります。

いこいの村しんぶん　363号　２０１２年（平成２４年）　８月20日発行

ありがとうございました

◆後援会　ご入会・ご継続

田中　裕志　様	福知山市	継
岡村　とし子　様	綾部市岡町	新
川端　ユキ卫　様	綾部市佃町	継

今回の掲載は７月１日～７月３１日受付分です。

〔新－新規入会・継－継続〕
◆「後援会」はいこいの村で現金受付させていただいた方のみの掲載です。
現金振込・自動引落の方は京都聴言ニュースに掲載させていただいております。

◆ご寄付　（1,000円以上　順不同）

山内　巧　様	京丹波町	１００,０００円
徳田　トシ子　様	京都市	ソファー・下駄箱
波多野　矢作　様	綾部市睦合町	衣類・リュック
矢田　作十路　様	綾部市本町	水墨画
宮越　紅美　様	京都市	１００,０００円
㈱滝下測量設計事務所　様	綾部市上野町	ビール券
舞鶴地活利用者有志　様	舞鶴市	はがき
㈱柴橋商会　様	京都市	菓子詰合せ
とり安　様	京都市	鶏肉
亀岡ボランティア連絡協議会　様	亀岡市	5,000円
波多野　泰　様	綾部市五泉町	100,000円
匿名希望　様	綾部市五津合町	30,000円
大矢　運　様	兵庫県	玉ねぎ　2ケース
ワタキューセイモア㈱　様	京都府綴喜郡	菓子詰合せ
森本屋　様	綾部市八津合町	飲料詰合せ
口上林村おこし推進協議会　様	綾部市武吉町	5,000円
永井　忠之　様	綾部市井根町	ビール　2ケース
クロスロード　様	綾部市淵垣町	飲料詰合せ
㈱マルヨ工務店　様	綾部市岡安町	飲料詰合せ
稲葉　和美　様	綾部市上杉町	なす・きゅうり
佃町自治会　様	綾部市佃町	5,000円

今回の掲載は７月１日～７月３１日受付分です。

９月在宅サービスの予定

☆　デイサービスの予定

町区名	口上林 全域	中上林 2班	中上林 1班	奥上林 全域	山家 全域	土曜 デイ
日	月	火	水	木	金	土
						1
休	3	4	5	6	7	8
休	10	11	12	13	14	15
休	17	18	19	20	21	22
休	24	25	26	27	28	29
休						

☆ 散髪の日　１日，８日，１５日，２２日，２９日

☆ 配食ｻｰﾋﾞｽ　月～土曜日(山家・口上林地域対象)

ボランティア　ありがとうございました！

７月度

【いこいの村・梅の木寮】

人と動物とのふれあいボランティア
ハーモニー　様

☆耳の相談日

９月１９日（水）　会場：いこいの村
開催時間　１３：００～１５：００　要予約

☆耳のこと相談

９月１１日（火）　会場：綾部市ふれあいの家（豊里）
開催時間　１２：００～１４：３０　要予約

【編集後記】
暑い夏，37度が続く。ロンドンは4月の気温。選手たちの頑張りについつい寝不足に。オリンピック，金，銀，銅メダルの数が楽しみだな。